

商学部 AI・データサイエンス教育プログラム（ビジネス応用基礎）自己点検・評価報告

商学部 AI・データサイエンス教育プログラム運営委員会

2024.3.27

1. 自己点検・評価の実施

「商学部 AI・データサイエンス教育プログラム（ビジネス応用基礎）」について、2022 年度より、応用基礎レベルとして実施している。2023 年度は、当プログラム 2 年度目である。

商学部 AI・データサイエンス教育プログラム運営委員会は、2023 年度の履修状況を参考に、履修者数向上に向けた計画、学生への周知方法、授業運営上の工夫等について種々意見交換を行い、自己点検・評価を実施した。

【商学部 AI・データサイエンス教育プログラム運営委員会の開催状況】

日時：2023 年 3 月 27 日（水）15：30～16：00

場所：関西大学千里山キャンパス第 2 学舎第 1 号館商学部会議室

出席者：矢田、高井、村上、李、藤井（教務）、石田（オブザーバー）

2. 評価の基準について

下記の 3 段階で評価する。

A：取り組みの内容に特筆すべき点があり、十分に実施できている

B：問題なく運営されている

C：取り組みの内容について改善の必要が認められる

3. 自己点検・評価の結果について

2022 年度の自己点検・評価の結果を受け、本教育プログラムの履修者増加を図るため、2024 年度に向けてプログラム修了要件の見直しを行った。

検討の結果、「経営情報論」及び「データサイエンス」（2023 年度新規開講）の 2 科目で本教育プログラムが提供する内容を満たすことができることが確認できたため、下記のとおり修了要件を変更することを決定し、2023 年 11 月 29 日開催の商学部教授会にて承認を得た。

〔変更後の修了要件〕

プログラムを構成する下記 2 科目 4 単位を修得すること。

「経営情報論」2 単位

「データサイエンス」2 単位

前述の本教育プログラム見直し状況と今年度の履修状況等を確認し、当委員会委員によ

る意見交換の結果、下記の評価に至った。

【評価結果】B：問題なく運営されている

【自己点検結果】

本教育プログラムは、商学部で開講する専門教育科目を利用しており、商学部の全学生が履修可能である。2023年度の本教育プログラムの履修状況は次の通りであった。

「経営情報論」 586名

「データ・マイニング論」 29名

「統計解析演習」 11名

※「マーケティング・サイエンス」及び「マーケティング・リサーチ」は不開講

4. 改善・進化に向けた対応について

運営委員会における意見交換では、更なる履修者数の増加に向けて、「プログラム科目の構成について、経営情報論をベースにしつつ、データ・サイエンス or マーケティング・サイエンス or マーケティング・リサーチといった組み合わせはどうか」、「新学部（ビジネスデータサイエンス学部）との連携を視野に入れたプログラムのあり方を検討してはどうか」といった意見が委員からあった。次年度のプログラム実施においては、これらの意見を踏まえて、内容を改善することとした。

以上